

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

別添資料5

公表：2024年 1月 25日

事業所名 塚本駅前こここツリーハウス

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|--|----|-----|--|--------------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | 療育の内容によって、戸外での活動を取り入れるなど工夫しています。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | 十分に配置されています。 | |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | 資格支援を効果的に取り入れながら、わかりやすい支援を行っています。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | 使用した玩具の消毒をこまめに行っています。 | 利用者の合わせた環境構成を整えていきます。 |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | ○ | | 職員間で情報共有を欠かさず、療育の質を高めていく努力をしています。 | |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | | いただいたご意見を真摯に受け止めながら改善していきます。 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | 自社ホームページにて公表しています。 | |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | | 現在予定はありませんが、必要があれば今後検討していきたいです。 |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | 職員が自主的に研修を受けやすい制度を設け、積極的に資質向上を目指しています。 | 年間計画を立てながら、さまざまな研修を受講し、資質向上を目指しています。 |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | 利用者のニーズを伺いながら、職員間で分析し、丁寧に作成しています。 | |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | 専用のアセスメントツールを使用しています。 | |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | 個々のニーズを捉え、優先順位を定めるなどして工夫して支援しています。 | |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | 支援のズレがないように、職員間で日々振り返りを行っています。 | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | 個々に合わせたプログラムが工夫されています。 | |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | 季節を感じられる活動や目標設定も掲げながら工夫しています。 | |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している | ○ | | 個々の発達に応じた関わりに重視し、個別と集団活動のウエイトを適宜変更しています。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--------------|--|--|----|---------------------------------|--|------------------------------------|
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | 利用者に応じた適切な支援ができるように、毎回、療育前に担当を振り分け趣味レーションを行なっています。 | |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | その日の提供内容について、毎回振り返りを行い、次に繋げていけるように共通把握しています。 | |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | 提供後のフィードバックの徹底を重視して、必ず記録しています。 | |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | 定期的なモニタリングはもちろん、日々の聞き取りも大切に支援に繋がっています。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | 必要に応じ、担当者が参加しています。 | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | 関係機関との連携を密にしております。 | |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | / | / | | |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | / | / | | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | 実際に訪問をするなどして、当該児の発達面など、情報共有、相互理解を重ね、支援に反映しています。 | 訪問件数を増やしなが、より相互理解を深め、支援の質を高めていきます。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | | ○ | | 関係機関にアプローチしながら、移行支援を積極的に行なっていきます。 |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | | 職員が適材適所の研修の機会が得られるよう、視野を広げていきます。 |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | ○ | | 定期的に保育園との交流を実施しています。 | |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | | ○ | | 関係機関にアプローチしながら、積極的に連携していけるように努めます。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | 送迎時を利用しながら、口頭でも日々の様子を伝えるようにしています。 | |
| 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | ○ | | 保護者の声にも耳を傾け、適宜助言ができるように心がけています。 | 支援における細かな気づきも共有しながら相互理解に努めていきます。 | |
| | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | 契約には、お時間をいただき読み合わせを行いながら共有します。 | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | 利用者のニーズを伺いながら、職員間で分析し、丁寧に作成した上で、面談時間を十分に確保しています。 | 5領域に基づき、より細分化された計画を立案していきます。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------|----|--|----|-----|---|--------------------------------------|
| 保護者への説明責任等 | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | 送迎の時間等を活用し、対話する時間を持つようにしています。 | より「話しやすい」雰囲気づくりを目指します。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | | 保護者参加イベントの開催。 | ニーズに合った保護者同士の繋がり場を作りたいです。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | 申し入れのあった場合、可能な限り、迅速に対応できるよう職員間で共有しています。 | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | 毎回の活動内容を報告したり、SNS・HP等も活用しながら発信しています。 | 翌月の活動予定の発表が遅れないようにより計画性を持って対応していきます。 |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | 個人情報の取り扱いについて、定期的に注意喚起するとともに、取り扱いルールを厳しく定めています。 | |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | わかりやすい共有の方法を常に工夫しています。 | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | | 今後検討予定です。 |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | 月1回マニュアル会議を実施。振り返り、改善策を講じています。 | 事業継続計画の作成。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | 月2回程度、想定を変えながら避難訓練を実施。振り返り、改善策を講じています。 | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | 利用契約時、必要な対応を保護者に確認し職員間で共有しています。 | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | アレルギー児に対しては、医師の診断書を提示いただくなど対応しております。 | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | あらゆる事項を対象にしながら、職員間で共有し、きめ細やかな療育の提供を目指しています。 | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | 虐待防止についての理解を深め、積極的に研修に参加しています。 | 年間計画を立て、各自研修を受講し、資質向上を目指しています。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | 十分に説明しております。 今後、該当のあった場合も、個別支援計画書にも漏れないよう記載していきます。 | |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。